

景況レポート・1月

1月の県内景況は、
一部の業種で改善の動きが見えるものの、全体としては曇り模様。

情報連絡員による平成26年1月の県内中小企業の景況は、業界全体として「低調」とするところが40.0%（前月比-2.4）、「横這い」は35.0%（同-0.6）、「好況」は25.0%（同+3.0）となっており、業界全体の「景況感DI」は-15.0（同+5.3）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「販売価格」「雇用人員」以外のすべての項目（「売上高」「在庫数量」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」）が前月と比較して減少しています。

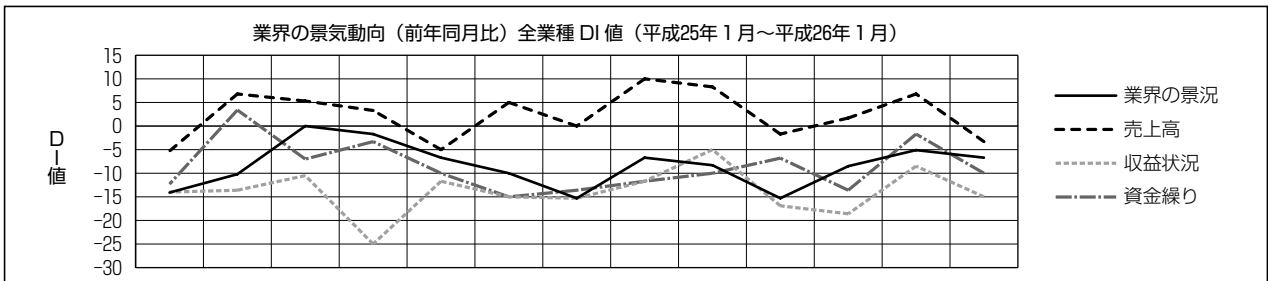
2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、繊維製品製造業、鉄工機械製造業、その他の製造業、サービス業、建設業は「快晴」または「晴れ」、木材木製品製造業、卸売業、商店街は「薄曇り」または「曇り」、その他の業種は「雨」または「大雨」となっています。

※DI値 +30以上「快晴」 +10～+30未満「晴れ」 -10～+10未満「薄曇り」
-30～-10未満「曇り」 -50～-30未満「雨」 -50以上「大雨」

◇来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が16.7%（前月比+8.2）と増加しております（好転の回答1件、やや好転の回答9件）（製造業6、非製造業4）。また、やや悪化、悪化の見込みは、31.7%（前月比+4.5）と増加しております。変わらないが、51.7%（前月比-12.7）と減少しております。

平成26年1月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率100%）



	平成25年1月	平成25年2月	平成25年3月	平成25年4月	平成25年5月	平成25年6月	平成25年7月	平成25年8月	平成25年9月	平成25年10月	平成25年11月	平成25年12月	平成26年1月
業界の景況	-14.1	-10.2	0.0	-1.7	-6.7	-10.0	-15.3	-6.7	-8.3	-5.1	-8.5	-5.1	-6.7
売上高	-5.3	6.8	5.3	3.3	-5.0	5.0	0.0	10.0	8.3	-1.7	1.7	6.8	-3.3
収益状況	-14.0	-13.6	-10.5	-25.0	-11.7	-15.0	-15.3	-11.7	-5.0	-16.9	-18.6	-8.5	-15.0
資金繰り	-12.3	3.4	-7.0	-3.3	-10.0	-15.0	-13.6	-11.7	-10.0	-6.8	-13.6	-1.7	-10.0

木材・木製品製造業

<製材業>

天候が良く、価格も高いことから原木の出材は順調で価格は徐々に安定してきている。一方スギ製品は大幅値上げとなり急速な原木高に製品価格が追いついた形で製材工場では一息ついた格好であるが、一部高騰した原木価格分のコスト転嫁に苦心している工場もある。

<外材輸入>

製材品の高コストの固定化から、再値上げ提示を展開しているが、荷動きは下降気味であり、苦戦を強いられている。4月消費税アップ後が心配である。

鉄鋼・金属・一般機械製造業

<鉄工>

（県中地区）

最近の支払いは、手形から現金（小切手）払いが少し多くなっている。

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、見積り引合とも前月同様、横ばいまたは減少傾向で推移しており、今期いっぱいには続くものと思われる。したがって、売上高・収益状況は前月と同様に減少傾向であり、厳しい状況を引きずっている。

食品製造業

<漬物>

仕入れ原料が円安と中国の原料高、ガソリン重油、資材の値上がりにより、利益が大変厳しく、新たな市場開拓を考えなければ生き残りが難しい状況にある。

<味噌醤油>

主原料の大豆、小麦は円安による高騰が続いており、製造コストが依然として高く、収益状況は減少し、組合員の味噌、醤油出荷量も前月比で減少と苦しい状態が続いている。中小企業復興グループ補助金申請構成員のほとんどが、今年3月で完了の予定。中小企業団体中央会のご指導と、ご教示に対し深く御礼申し上げます。

<酒造>

普通酒の落ち込みが目立つ。イベントは好調で吟醸・純米酒を中心に売れている。

<食品団地>

前年同月に対して、原油仕入値は18%、原材料は2倍近く値上がりし、厳しい状況は続いている。また、消費者の購入する判断基準も多様化し厳しくなっており、より一層安全・安心で自社の強みを生かした商品づくりが求められている。

紙・紙加工品製造業

<紙器・段ボール箱>

県内は原発事故、高齢化、少子化の問題があり、商店街そのものがどんどん縮小傾向にあり、今のやり方だけでは我々紙器業界は生き残れないと痛感している。各紙器製造業者はそれぞれ独自の技術や技能で新しい切り口で業界を盛り上げ企業や商店街を活性化させることが重要で、ここ数年世界的に見てもアップルの登場によってスマートホンの箱は貼箱という流れが出来上がり、また韓国でもサムソンの箱はやはり貼箱で「スマホの箱」だけでかなり大きなマーケットが形成されている。スチール缶やプラスチックなどにかわる紙製パッケージを定着させることができれば、われわれ業界の未来も大きく変わってくるような気がする。

窯業・土石製品製造業

<陶磁器>

売上金額には違いがない。(冬期間は)例年この時期は同じような状況。

<砕石>

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 約15%の減
2. 当月売上高の昨年同月比 約20%の増
3. 今年度累計の昨年対比 約54%の増
4. 原因・状況 発注されている県北地区の除染工事が一部終了となり減少した。

<生コン>

平成26年1月の組合員生コン出荷数量は、135,525 m³と対前年同月比28.4%の増。東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等補修工事での増加が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比23.7%の増、官公需が27.3%の増であった。

■民需の動向

対前年同月比 23.7%の増

①対前年同月比増加地区

<県北地区> 39.8%の増

東北電力発電所(飯野町)工事、元気サポート笹谷新築工事等

<県中地区> 2.3%の増

柏屋本店ビル新築工事、配送センター、低温倉庫建設工事等

<白河地区> 3.7%の増

工場、倉庫新築工事等

<いわき地区> 39.5%の増

大王製紙工場増築工事、なこそ病院工事等

<相双地区> 48.9%の増

原発保安対策工事、常磐道浪江地区舗装工事等

<会津地区> 7.4%の増

会津中央病院増築工事、東山風力発電工事等

■官公需の動向

対前年同月比 27.3%の増

①対前年同月比増加地区

<県中地区> 25.6%の増

再生可能エネルギー研究施設工事、阿武隈川上流本宮地区樋門築堤等

<いわき地区> 7.9%の増

小名浜港7号追悼地区岸壁復旧工事、小名浜西防波堤工事等

<相双地区> 85.0%の増

海岸保全施設整備工事、公共災害復旧工事等

②対前年同月比減少地区

<県北地区> 7.0%の減

栗子トンネル2期工事、梁川小学校改築工事等

<白河地区> 4.0%の減

白河中央中学校、駅前西線道路工事等

<会津地区> 3.0%の減

喜多方市役所新築工事、西会津小学校新築工事等

繊維・同製品製造業

<縫製品>

今年に入り、受注状況も好転している。受注が増加し、各社とも操業度が上がっている。しかし、収益状況は変わらず、採算性が悪い。今後その点も徐々に好転するものと期待している。

小売業

<共同店舗>

(県中地区のOショッピングセンター)

1月は、帰省客の需要を期待したが、売上高は減少しました。寒い時期の帰省をせず、来店客が減少しました。初売り、福袋の売上が伸びません。近年福袋の売上が低迷しているため、数を減らしたが売れ残りました。飲食関係は、売上高、来店客とも昨年比99%でした。物販店の7割が100%超え、3割が昨年比を落としました。物販全体では、売上高昨年比95%になりました。この時期、季節商品のひな人形の需要がありますが、購入価格が10万円台が主流になっています。高額商品は、贈られる側の住宅事情等々で敬遠されがちになっています。景気上昇のニュースは聞きますが実感は全くありません。

<石油>

1月元売各社の仕切価格が、ほぼ据置きとなり、市場も大きな変動にはならなかった。一方、今冬は、比較的暖冬な気候さらには灯油価格が昨年同時期と比べ1ℓあたり10円以上高騰しているため、販売量が大幅に減少している。冬場の利益減に直結しており、厳しい経営状況となっている。

<青果>

1月になり、積雪量は前年に比べ少ないが、気温の低下が続き、野菜の高騰や、栽培においても暖房の使用などコストがかかるなど品薄の状況が続いている。小売店においても低温のために野菜がしみる等の状態がみられ、保存に困難な時もあったようだ。毎年1、2月は取引も少ない。単価の高騰も来月まで続くと予想している。

<電機>

消費税増税の購入は今のところあまりない。エアコンの動きは前年より良くなっている。石油の値上がりの影響もあるのではないかと。

運輸業

<トラック運送>

(県北地区)

トラック運送業界では、慢性化している需要量の停滞、運賃水準の低下、燃料価格の高騰と高速道路料金の転嫁難など景気回復の兆しが見えず、まさに苦境に立たされている。そのような中で、3年も経過しようとしているのに原発から高濃度の汚染水が流出報道と次々に露呈する問題には怒りを感じざるを得ない。このようなことで福島県は本当に復興できるのだろうか。

(県中地区)

深刻な人手不足により輸送力がダウン。引越し繁忙期と消費税駆け込みが重なり、積み残しが大量にでてくると思われる。

<ハイヤータクシー>

雪が少なく利用減となったか。(前年は大雪による出控えて動かなかった。また、注文を受けても雪により道路が混雑して動けない状況となり減少した。)天候により左右されてしまう。

印刷業

<印刷>

年度末にかけて消費税引き上げ前の需要がでてくると思われます。逆に4月以降は年度末の反動で落ち込みが予想されます。

サービス業

<旅館業>

(土湯温泉)

長い正月休日だったこともあり、お客様が分散化した。例年より静かな1月であった。県外からのフリー客が非常に少なく、まだまだ風評被害が続いていると感じられる。

<理容業>

三が日休みでどの店も4日から営業したようだ。仕事始めからの4～5日は暮れに調髪できなかったお客様で忙しかったようだ。その後は例年通りで中だるみで年末に調髪した人はまだ来店するところではないし、暇だった。寒い日が続いたけれど雪が少ない分助かっている。雪が降ると極端に客足は止まる。理容は寒さと天候に弱い。景気がよくなることを願って今年も頑張ろうと組合員に話しかけている。

<廃棄物収集運搬業>

震災関連事業も今年に入ってから減る方向へ動き始めました。既存事業の強化が必要となりますが、まだ方針が見えません。景気がよくなっているという波及はいつごろ地方に届くのでしょうか。

建設業

<建設業>

(県一円)

東日本建設業保証㈱の「建設業の財務統計指標」によると、福島県は長引く建設投資の低迷で事業量の減少、財務内容の悪化が続いていましたが、平成24年度の売上高経常利益率(平均)は22年度の-1.76%からようやく5.39ポイント上昇し3.63%となった。平成25年度の指標は未だであるが、県内経済見通しでは復興需要・除染需要を受けている建設業が全体を牽引している印象が目立つようである。(県南地区)

降雪がほとんどないため、除染業務の進捗が予定より進んでいる。仮置き場が設置されている地区の除染は進み具合が良い。除染用フレコンが若干品不足となっているほか、仮置き場に使用する資材の確保が難しくなっている。民間建築は好調だが、職人不足となっている。

<管工事>

前月比で給水・排水設備申請が減少。前年同月累計対比で給水設備申請が増加し、排水設備申請は減少している。

<専門工事>

先月に引き続き、浜通り・中通りではほとんど降雪に見舞われない状況が続いている。現場が動く一方で、季節的な都合で行えてきた段取りの調整等が全く行えない状態にあり、業務的に疲労がたまってきている。また、首都圏等での人員集めが顕在化しており、復興に伴う手当の上乗せを加算しても金額で負けるという状態が発生している。結果として、人件費の高騰は確実なものとなっており、より高位レベルでの調整が必要になっていると感じている。

卸売業

<卸売業>

(県中地区)

一般消費者向けの商材については、天候等の影響があり、季節ものの売上が伸び悩んだが、比較的高額商品については好調であった。全体としては可もなく不可もなくといったところ。建築関連では、引き続きモノ不足と価格の高騰が進んでいる。ここにきての動きは復興需要といったものばかりではなく、増税をひかえての駆け込み需要も要因となっている。人手不足とも相まって今後を懸念する声が広がっている。

<再生資源>

1月は、比較的雪も少なく、平年よりも物の動きに支障はなかったが、発生率はいかわらず低調であった。2月は、例年は降雪の影響もあり二八月で低調であるが、4月消費税増税を目前にしてメーカーも増産体制にかかっているため、量が期待できないならば、原料不足からの値上がりに期待したいところである。

商店街

<福島市>

天候に恵まれたおかげで、昼間の歩行者数は1月の割には多かった感がある。しかし、それが物販に好況をもたらしたかという、難しいところ。夜間の通りの歩行者数は例年より少なく、飲食業には厳しい感じがした。2月は寒さ・天候が厳しく、堪え忍ぶ月になりそうである。

<郡山市>

1月の商店街駐車場の売上は、年末のサービス券販売の減少がそのままながれてきたようなので、大きく増加になりました。客数も増加だったのは、一昨年のような大雪の悪天候がなく、おおむね天候が良好だったので商店街への客足が伸びたようです。昨年後半から落ち込んでいた売上と客数は、微減までには戻ってきました。このまま順調に行ってもらいたいですが、今年に入ってからもあまりにも雪が少ないだけに、今後大きく降るようなことがあれば、商店街は悪天候が直ちに影響するだけに、まだまだ微妙なところです。

<南相馬市>

2月に入り、商店街は一段と冷え込み、厳しさは増すばかりです。しかしながら、イベントを行えば確実にお客様は来て、にぎわいます。イベントの継続実施の重要性をつくづく感じます。コミュニティの再生は、商店街が果たす大きな役割と考えています。

<会津若松市>

寒さの厳しさはあったが、積雪が例年に比べて少ないため衣料に関してはコートなどの動きが悪かった。後継者問題で営業が難しい店舗がでた。

<いわき市>

初売りから、来店数が少ないように感じた。年末年始の休みが長いせいか大型店へ家族連れでのお出かけが多いのか、出鼻をくじかれたようなスタート。その後もセールもあまり盛り上がりせず、物販を中心に苦戦の様子。毎年恒例の商店街のだるま市は前年並みの売上を確保。固定のお客様が足を運んでくれた。年の始めの1月にこの状況では、2月が本当に心配である。飲食店は相変わらずの好調。

景況天気図 1月

天気図の見方

各景況項目について「増加」(または「好転」)業種割合から「減少」(または「悪化」)業種割合を差し引いた値(D・I値)をもとに作成。その基準は右表のとおりである。

D・I値基準値

☀ 快晴	30以上	☁ 曇り	-30~-10未満
☀ 晴	10~30未満	☔ 雨	-50~-30未満
☁ 晴	-10~-10未満	☔ 大雨	-50未満

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	☔ -42.86	☔ -57.14	☁ 0.00	☀ 14.29	☔ -42.86	☔ -57.14	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -14.29	☔ -14.29	☔ -42.86	☔ -71.43
繊維製品製造	☔ -33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 33.33
木材製品製造	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 25.00	☀ 100.00	☁ 0.00	☔ -25.00	☁ 0.00	☔ -25.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00
鉄工機械製造	☔ -40.00	☀ 20.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -20.00	☁ 0.00	☔ -20.00	☁ 0.00	☔ -20.00	☀ 20.00	☀ 40.00
その他の製造	☔ -85.71	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 42.86	☔ -14.29	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 14.29
卸売業	☔ -50.00	☁ 0.00	☔ -50.00	☔ -25.00	☔ -50.00	☔ -50.00	☔ -25.00	☔ -25.00	☁ 0.00	☔ -25.00	☔ -50.00	☔ -25.00
小売業	☔ -44.44	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 11.11	☀ 11.11	☁ 0.00	☔ -22.22	☔ -22.22	☔ -22.22	☁ 0.00	☔ -22.22	☔ -33.33
商店街	☔ -16.67	☁ 0.00	☔ -33.33	☔ -33.33	☔ -50.00	☔ -16.67	☔ -33.33	☔ -33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -33.33	☁ 0.00
サービス業	☔ -28.57	☀ 14.29	☁ 0.00	☀ 28.57	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -14.29	☁ 0.00	☔ -14.29	☀ 28.57	☁ 0.00	☀ 14.29
建設業	☔ -20.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 40.00	☁ 0.00	☀ 40.00	☁ 0.00	☀ 40.00	☁ 0.00	☀ 20.00	☁ 0.00	☀ 20.00
運輸業	☔ -100.00	☁ 0.00	☔ -33.33	☁ 0.00	☔ -66.67	☔ -66.67	☔ -66.67	☔ -33.33	☁ 0.00	☔ -66.67	☔ -66.67	☔ -33.33

平成25年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業(ものづくり、商業・サービス補助金)」の1次公募が2月17日から始まりました!

ものづくり・商業・サービス補助金は、新製品・新技術・新サービスの開発など事業革新に取り組む中小企業・小規模事業者に対し、試作品・新サービス開発、設備投資等に要する経費の一部を補助するものです。

1. 対象要件

認定支援機関に事業計画の実効性等が確認された中小企業・小規模事業者であり、以下の要件のいずれかを満たす者

- (1) 「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用していること
- (2) 革新的なサービスの提供等を行い、3~5年計画で「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成する計画であること (※ 付加価値額 = 営業利益 + 人件費 + 減価償却費)

2. 募集期間

- ・受付開始：平成26年2月17日(月)
 - ・一次締切：平成26年3月14日(金) [当日消印有効]
 - ・二次締切：平成26年5月14日(水) [当日消印有効]
- ※ 郵送により福島県地域事務局あてに送付していただくようお願いいたします。

3. 公募要領等

公募要領および申請書につきましては、福島県中小企業団体中央会ホームページに掲載しておりますので、ダウンロードしてお使い下さい。なお、申請書は公募要領の注意事項をご確認のうえ作成ください。

HP <http://www.chuokai-fukushima.or.jp/>

(申請書受付先・お問い合わせ先)

福島県地域事務局 (福島県中小企業団体中央会)
住 所 〒960-8035 福島市本町5-5 殖産銀行フコク生命ビル9階
電話番号 024-529-7603